

タイトル

オンラインコミュニティ向け投票メカニズムの分析

Analysis of voting mechanism for online community

概要

Apacheプロジェクトでパッケージリリースの可否決定に投票が用いられている。そこで採用されている投票メカニズムは、(1) 同時投票ではなく逐次投票、(2) 単純な多数決投票ではなく、ある代替案に先に3票集まれば、そこで投票が打ち切れ、その案に決定される、という興味深い特徴を持つ。本展示では、ゲーム理論を用いた分析により、2票先取だとどうなるのか、4票先取だとどうなるのかといった点について明らかにする。

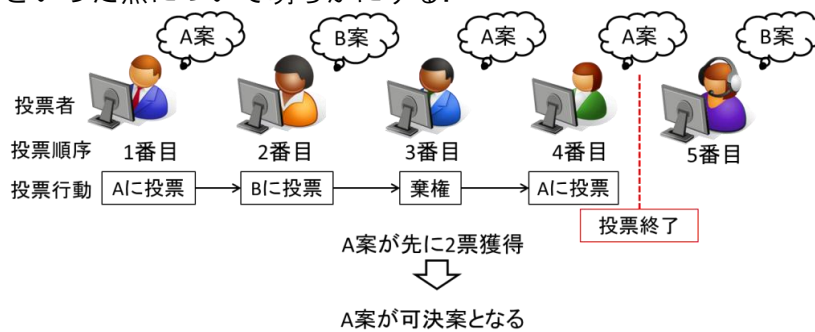


図 m(=2)票先取り投票の様子(メンバー5人の場合)

URL

産業界への展開例・適用分野

オープンソースソフトウェア開発をはじめとするオンラインコミュニティにおいて、投票は議論で合意に至らない状況を解決する一つの手段である。そこでは、メンバに負荷をかけずに、メンバ全員の意向を反映した良い意思決定を行いたいという要求がある。本研究は、その点についての示唆を与える。

| | 氏名 | 専攻 | 研究室 | 役職(学年) |
|-------|------------|-------|----------|--------|
| 展示担当者 | 鍵福 竜也 | 社会情報学 | 石田・松原研究室 | 修士1回生 |
| | 北本 進悟 | 社会情報学 | 石田・松原研究室 | 修士2回生 |
| | Meile Wang | 社会情報学 | 石田・松原研究室 | 修士2回生 |
| | 松原 繁夫 | 社会情報学 | 石田・松原研究室 | 准教授 |